



「安心・安全・温かい」学校の推進

# 学校だより

X <https://x.com/ooizumitokushi>

東京都立大泉特別支援学校

学校通信 第11号

令和8年3月13日

HP

## ごあいさつ

校長 中島 雄佑

三寒四温の見本のように、2月3月は寒かったり暖かかったり、私たちの気持ちのように揺れ動いている天気です。卒業、いろいろなお別れの時は、心が寒くなり、旅立ち、新しい出会い、やり遂げた気持ちの時は晴れやかな気持ちになります。卒業・入学が具体的に感じられるようになり、次の生活が見え始めると、いやがおうでも自分の気持ちは高揚します。人間は未だに感情をコントロールする術を得ておらず、高ぶってしまうと、うれしくても、悲しくても涙を流します。周りにいる高ぶっている人たちを見ることで助長されたりもします。喜んだり、悲しんだり、うれしかったり、寂しかったり、自分がそうだったり、親しい人やあこがれの人がそうになっているのを見たり、感情が、心が揺れ動き、乱れたり、見失ったりします。そんな時に助けられた「歌」や「言葉」、「見た景色」「勇気をくれた人」は一生の宝物になります。誰にでもそういう宝物があると思います。一方で、本校の子供たちは、節目で、こういった経験を積んでいきます。その経験やこれまでの積み重ねの中に、それぞれの宝物を見つけたり、感じたりしているはずです。本校の教職員は、たくさんの宝物を持ってもらうために、子供たちに寄り添って、教育支援をしています。この節目で、もう一度気持ちを新たにして新年度を迎えます。

一年間、本校の教育活動への御理解と御協力をありがとうございました。

### 雑感です

平成元年から9年間を本校の教員として過ごし、平成24年に志村学園の開設準備室担当として学籍異動の33家庭の面接を本校で行いました。その時も「中島が大泉に帰って来た」という特別な扱いをOBをはじめとする保護者の皆さまにさせていただきました。

そして令和7年度には校長として着任し、不思議な感覚とともに時の流れを強く感じました。本校での季節や場面ごとに思い出される昔のことは鮮明な記憶が多かったです。

「中島に会いに行こう」とばかりに訪問してくださったり電話をくださったりした、卒業生や卒業生の保護者の皆さま。年間を通して多くの懐かしい面々と再会することができました。これも不思議な感覚です。通学区域時代であった板橋区在住のOBの皆さまもいらして、仮設校舎が板橋区に来るって聞いたので、応援したいと思ってきましたと話されていました。ありがたい助っ人も登場してくれました。

あと少しで私の不思議な1年が終わります。通りかかったC棟2階のエレベーター前にある以前の校歌の歌詞ボードの前で、なぜか、ふと立ち止まり、、

「明日の力 大泉養護学校」と小さな声で歌っている自分に気がつきました。

